

第10回 穴水ウィンドアンサンブル



- ♪ と き 平成22年10月3日(日)
14:00開演(13:30開場)
- ♪ と ころ のとふれあい文化センター
ラベンダーホール
- ♪ 主 催 穴水ウィンドアンサンブル
- ♪ 後 援 穴水町教育委員会
穴水町文化協会
北國新聞社
石川県吹奏楽連盟
能越ケーブルネット(株)



ごあいさつ

穴水ウィンドアンサンブル

しみす かすひろ
団 長 清 水 一 洋

本日はご来場頂き誠にありがとうございます。

この定期演奏会と言う活動を始め今年で10回を数える事ができました。

「継続は力・努力は積み重ね」

私の座右の銘でございます。

ここに一回目の演奏会を開催した事が思い出されます。思い返せば平成13年の1月、「演奏会をしよう」と発起し、「演奏会をやろう」とメンバー全員に檄を飛ばし苦心惨憺の上、9月に穴水町役場において第一回目の演奏会を開催した事が思い出されます。またその折、名称を「星の里ブラス」というアンサンブル形式の名称から「穴水ウィンドアンサンブル」に変更し吹奏楽団として演奏会に挑んだ事が思い出されます。当時は今のよう楽団としての体は全く成しておらず、まさしく裸一貫からの出発でした。

演奏も演奏会を通じ全曲単独での演奏は無理で当時の穴水中・向洋中の皆さんの力を借りて一回目の演奏会を行いました。今や定演は「毎年の如く」と慣れっこの常態ですが、その当時の事から考えると今は夢のようであります。

しかし思い返せばここに至る道筋は決して平坦なものでは有りませんでした。

ただ、厳しいながらも「活動を継続する」との一致した意思のもと、全員にて活動してまいりました。その地味な積み重ねが今の活動になって現れているものと思います。

本日は、10回目の節目の演奏会と言うこともあり通常の定演よりも多い曲を準備いたしました。我々も社会生活の合間を見て無い時間を作りこの演奏会のために練習してまいりました。

ご来場に皆様方に置かれましては最後までお楽しみくださいませ。

また、当団の活動にご理解のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

プ ロ グ ラ ム

第1部

1 音楽祭のプレリュード

作曲 A. リード

吹奏楽の神様と言われたA. リード氏ですが、氏が日本に知られるようになったきっかけになった曲こそが、この「音楽祭のプレリュード」だと言われています。1970年、第18回全日本吹奏楽コンクールでの課題曲（高校生以上の部門）として採用されると、氏の名前と作品は広く知られるようになりました。今回、私たちは日本における氏の原点とも言えるこの曲を、この第10回記念演奏会のオープニング曲として選曲しました。

2 アラビアのロレンス

作曲 M. ジャール

編曲 A. リード

1962年公開の、雄大な砂漠を舞台にした映画「アラビアのロレンス」は、アカデミー賞で最優秀作品賞、作曲賞等7部門を独占した大作で、今もなお映画史にさん然と輝き続けています。この編曲では、光輝くような色彩と荒々しい粗野な表現効果をもつ「アラビアの主題」主人公ロレンスの砂漠への愛と、ロレンスの内面の心理的な葛藤を表す刺激的な旋律の「ロレンスの主題」で構成されています。

3 シンコペイテッド・クロック

作曲 L. アンダーソン

リロイ・アンダーソンの曲を一度も聴いたことのない人はいないでしょうか。「そりすべり」「タイプライター」「トランペット吹きの日」等々…。「シンコペイテッド・クロック」は「狂った時計」と訳され、短めの曲ではありますが、アンダーソン作品の魅力が満載です！

4 エルザの大聖堂への行列

作曲 R. ワーグナー **編曲** L. カリエ

リヒャルト・ワーグナーのオペラ「ローエングリン」の中の曲です。エルザの大聖堂への「行進」と訳されることもあります。白鳥の騎士ローエングリンとの婚礼のために、ブラバント公国の公女エルザが大聖堂（礼拝堂）へ行列になって向かう場面で演奏されます。全体的に静かで美しい旋律が印象的です。

第2部

1 トゥルース

作曲 安藤まさひろ

言わずと知れたTスクエアの代表作で、「F1グランプリ」のメインテーマに使用されています。イントロの断片的なフレーズに導かれて、ダイナミックなテュッティが現われ、そして情熱的なテーマへと流れていきます。

2 時の流れに身をまかせ

作曲 三木 たかし **編曲** 杉浦 邦弘

アジアの歌姫テレサ・テンは台湾出身の大歌手です。『つぐない』『愛人』と人々を魅了し、中でも『時の流れに身をまかせ』は日本で最大のヒットを記録しました。1995年5月に急死されましたが、その優しい人柄と美しい歌声は今でも愛され続けています。

3 ジャパニーズ・グラフィティXIV

編曲 三浦 秀秋

嵐（あらし）は、人気の男性アイドルグループです。この曲は、嵐の人気曲11曲を一気にメドレーでお届けしますので、嵐ファンにはたまらない編曲となっています。

第3部

1 ア・ディープ（海溝）

作曲 塩谷 哲 **編曲** 久石 譲

この曲は、1980年、当時中学2年生（14歳）の塩谷哲氏が作曲し、エレクトーンで演奏したものです。海溝の深く暗いイメージを、美しいメロディーで表現しています。

2 ナイス・デイ

作曲 大野 三知代 **編曲** 森田 一浩

1976年度のジュニア・オリジナル・コンサート（JOC）で優秀作品に選ばれた曲で、当時15歳だった大野三知代が作曲しました。JOCでは最も親しまれている曲のひとつです。

この曲は明るくポップで、ジャズ的な感覚も持っていますので、ある一日の、楽しい出来事を回想するような気分で聴いて下さい。

3 アニメ・メドレー 久石譲作品集

編曲 森田 一浩

この曲は有名な宮崎駿アニメで使われている曲をメドレーにしたものです。「君をのせて」（天空の城ラピュタ）、「鳥の人」（風の谷のナウシカ）、「帰らざる日々」（紅の豚）、「風のとおる道」（となりのトトロ）と、なじみ深い曲が続きますので、お楽しみ下さい。

4 ボイジャー

作曲 角田 季子 **編曲** 梶谷 脩

「ボイジャー」は“旅人”や“航海者”といった意味ですが、太陽系のはるか彼方で孤独な旅を続けているアメリカの無人宇宙探査機「ボイジャー」も、この曲想の一端を担っています。

壮麗なファンファーレから始まり、平穏・幻想・暗雲など様々な表情の“旅”を経た後に、エンディングでは再び冒頭のファンファーレが奏され、栄光の未来を暗示しつつ曲は壮大に締めくくられます。

本日の第10回記念演奏会はひとつの節目となりました。当団の創立から今日に至る歩み、今後続くであろう未来…、“旅”はまだまだ続きます。明日からも引き続き頑張って参りますので、ご指導ご鞭撻のほどヨロシクお願い申し上げます。

メンバー紹介

フルート	江上由華理	松本佐智子	池田 朋美	
クラリネット	森元 彩織	池田 祐子	角間 萌美	角部 琴美
サクソ	菊田 務	長原 麗子	江上 麻衣	
トランペット	中川 健一 松本 優子	野畑 隆志 影田 照美	正武田清美	平野 真作
ホルン	仕幸 勝治	光 弥生	江上 隆	
トロンボーン	片矢 秀和 中田 弘幸	出水 大幸	長原 博昭	清水 千春
ユーフォニウム	光 正博	正木 孝明		
チューバ	岩野 祥之 酒井 真	野田 宏美	岡須 拓美	荒川 裕介
パーカッション	谷口 天洋	細木 剛	徳田 明奈	中前久美子
指揮	清水 一洋			



団員募集

当団では「楽しく真面目に！」をモットーに日々楽しく練習に励んでいます。現在楽器を吹いている方、ブランクのある方、未経験だけど何か楽器を吹いてみたい方も大歓迎です！私達と楽しい時間を過ごしませんか？興味のある方は気軽に練習を覗きにきて下さいね！

資 格：高校生以上の方ならどなたでも！
練習場所：旧向洋中学校
連絡先：〒927-**** 鳳珠郡穴水町*****
清水 一洋 ☎ 0768-**-****(自宅)

… 私たちのホームページにも、ぜひ遊びに来て下さい …

アドレス <http://www3.to/awe-band>